

パートナーSS

市民活動はまちの未来を創造する

特集

「コラボで元気に！」

団体同士がつながった
楽しい取組を紹介

(1,2,3ページ)

コラボで元気に！ 市民活動センターでの出会いから共同企画へ



清水市民活動センターがおこなう利用登録団体対象のアンケート調査で、毎年要望が多いのが団体間交流です。センターとしてもそれに応えるため、周年記念事業や利用登録団体の連絡会議の機会に交流をメインにした企画をおこなってきました。2023年は、市民活動センターの交流会の出会いから、共同でイベントを企画した団体の報告が相次ぎました。

一緒に企画を考えることで新たな視点が加わり、互いの活動への理解も深まります。「協力をしてもらえるか心配だったけれど、思い切って声をかけたら快く承諾してもらえた」「グループワークでイベントのアイデアを出し合ったことから企画が実現した」ときっかけはそれぞれですが、ネットワークも広がり、活動の活性化にもつながったようです。



コラボで広がる可能性

活動を広げたり、豊かにするための方法の一つに、他団体とのコラボレーションという選択肢があります。

事業をしたいけれど会員が少なくて運営が大変、新しい事業を考える時のヒントが欲しい、…そんな時に他の団体と一緒に企画を作ってみると、思いがけない気づきや発見があるかもしれません。

市民活動センターで出会い、協力をしながら出来上がった3つの事業をご紹介します。

MIHO CHRISTMAS ROOM 2023 クリスマスをお菓子作りとディナーで楽しもう！



9月29日に市民活動センターがおこなった利用登録団体連絡会議の団体交流「こんな時、私たち〇〇できます」のアイディアをきっかけに、コラボが実現しました。

アイディアのベースとなったのは、子どもたちに学習の場を提供しているUtakaが毎年開催していたクリスマスイベント。

4団体で打合わせを重ね、12月22日に開催しました。



Utaka(ユタカ)



認定NPO法人フードバンクふじのくに



ミモザの会



NPO法人ゆうゆう舎

今年で7年目になるイベントですが、どうしてもありきたりな企画になってしまします。

今回、各団体さんができることを考えてくれたおかげで、今までの枠にとらわれないクリスマス会を開催することができました。

そして、子どもたちの感想も例年と異なり、保護者から、「家に帰ってきてから、フードドライブのことを話してくれた」というメールも頂きました。コラボすることで、参加してくれた子どもたちの視野も広がったと思います。

Utaka
安池謙さん



おにぎりをにぎってみよう 「食」で日本の文化を体験

清水日本語交流の会は、静岡市に住む外国の方を対象にボランティアで日本語を教えている団体です。言葉を教えるだけでなく、日本の文化を伝えようと様々な交流企画をおこなってきましたが、それらの催しができない状況が続いていました。

市民活動センターを通じてフードバンクの存在を知りフードバンクふじのくにの協力により、12月17日に「おにぎり」作りイベントが実現。

おにぎりはコンビニで買わなくても作れる、ということも伝えたかったそうで、当日は、「初めて作った！」という方たちがほとんどでした。



新型コロナウイルスの影響で、今までおこなってきたイベントが開催できない状態が長く続いていました。学習者さんからは、また日本の文化を体験したいという希望も出てきて、「おにぎりを作る」という企画を思いつきました。予算的に難しいものがありました。事情を聞いたフードバンクふじのくにから食材を提供していただけたことになりました。おかげでボランティアさんの心づくしの味噌汁も加わり、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。

清水日本語交流の会 菊地優江さん



スマイル・ロゲイニング 親子で楽しむまち歩き

ロゲイニングは地図を見ながらチェックポイントをまわり得点を競うスポーツですが、今回は子どもたちに楽しみながら地域のことを知ってもらうことを目的に企画されました。

その中心となったのは、静岡大学地域創造学環の大学生。企画の段階から清水おやこ劇場のみなさんにもアドバイスを受けながら準備を進めました。また、NPOサポート・しみずがそのつなぎ役となり、そのネットワークを活かして地元商店会、自治会、企業の協力も得ることができました。

12月10日当日は、次郎長通り商店会をメインステージに親子と大学生たちがグループごとにゴールの美濃輪神社を目指しました。



①地図を見ながら、作戦会議



②チェックポイントで課題をクリア



③謎のおじさん登場(実は自治会長さん)



④ゴールで景品をゲット



企画・運営
静岡大学地域創造学環のみなさん



企画アドバイス・当日サポート
清水おやこ劇場

私たちは、市民活動をしている団体を応援する中間支援を活動の柱にしています。今回は大学生とNPOをつなぐことでより面白い企画ができました。さらに地元自治会や商店会、企業に働きかけ、地域のことを楽しみながら知る好機にもなりました。

コロナ禍により活動の仕方も変わり、新しいコミュニケーションの形を考えていく時代になりました。

地域や企業、学校を巻き込んでつながり、活動をしていくことでNPO自身も力をつけていけると考えています。

(特活) NPOサポート・しみず 木村精治さん

NPOワンポイント

次年度に向けて準備を始めましょう！

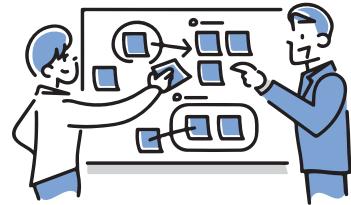
3月末に事業年度が終了するNPO法人のみなさんはいろいろな事務作業が集中する時期です。

団体の事業規模に関わらず

- 事業計画に沿って、実際におこなった事業の成果や経費の整理
 - 仮決算をし、未収金、未払い金について確認しながら決算見通しを立てる
 - 理事会、監査、総会の日程を決め、場所を確保
 - 役員が任期任期満了となる場合は、次期役員についての準備
- といったことが必要です。

そのほかにも団体としてしなければならないことが多く、事務局や運営を担う人たちは忙しくなります。

スケジュールを立てて、次年度に備えましょう。



センターからのお知らせ

ゲーム形式で学ぶ 災害時のデマやフェイクニュースの見極め方

災害時に出回るSNSのデマやフェイクニュースの見極め方や、信頼できる情報をどのように入手するかについてゲーム形式で学びます。

- 日 時：3月16日(土) 13:30～16:00
- 講 師：センタースタッフ
- プログラム：
 - 1) 情報収集編
(情報を収集する際の留意点)
 - 2) 情報発信編
(情報を発信する際の留意点)
 - 3) 情報防災バッグ編
(事前に情報収集・発信のために備える方法)
- 定 員：15名(申込順)
- 参 加 費：無料

しみず・ゴレなあに？ その60

清水区上清水町交差点のほど近くに、「御浜御殿跡」と書かれたプレートが埋め込まれた石垣があります。そこには、徳川家康が駿府に隠居した折に眺めの良いこの地に御殿を建てたと記されています。

その石垣から目線を上に移すと、「御殿跡」のイメージとは異なる二つの尖塔のある白い建物が目に入ります。およそ90年前に建てられたというカトリック清水教会聖堂です。ゴシック様式の建物でありながら日本ならではの木造建築で、屋内は白いアーチ型の天井とステンドグラスが美しく、床には畳が敷かれています。建築物としてとても興味深いのですが、戦時中は人が人の救護所として使われるなど、長い間地域に親しまれてきた場所でもあります。

残念ながら老朽化により解体が決定し、現在は見学することができません。移築予定のことですが、詳細は明らかになっていません。

● **令和6年度事務ブース入居団体募集** ●

市民活動団体が事務所として利用できる事務ブースの入居団体を募集します。

- 利用料：5,230円／1ヶ月
- 備 品：
 - ・事務用デスク、椅子
 - ・大型ロッカー
(横90×縦210×奥行42cm)
- ※インターネット接続可
- 申請期限：2月29日(木)
- 必要書類を添えて申し込んでください。
- ※入居にあたっては、選考委員会による審査があります。
- 詳細は清水市民活動センターにお問い合わせください。

●  ●

